

報道関係各位

2024年10月10日

一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan)

EFPIA Day 2024 プレスイベント**EFPIA会長 ラース フルアーガー ヨルゲンセン****「官民対話」の欧州事例を発表****～日本における魅力的で競争力がある医薬品市場の構築に向けた提言～****EFPIA Japan 会長 岩屋孝彦****創薬から患者アクセスまで包括した戦略の必要性を提言****～イノベーションの促進と持続可能な医療の両立を目指して～**

欧州製薬団体連合会（EFPIA：European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations、本部：ベルギー・ブリュッセル）および一般社団法人 欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）は、クオリティ・オブ・ライフの向上をもたらす革新的な治療薬やワクチンを速やかに患者さんに届けることを目指し、開発環境や薬価制度の整備の重要性について提言を行っています。

そして、本日10月10日（木）に開催した「EFPIA Day 2024 プレス向けイベント」で、**EFPIA 会長のラース フルアーガー ヨルゲンセン**が日本に対し、**欧州の官民対話の事例を紹介し、患者さんと社会の利益のためにヘルスケアエコシステムを強化するよう呼びかけました。**また、**EFPIA Japan 会長の岩屋孝彦**が、**創薬から患者アクセスまで包括した戦略の必要性**を発表いたしました。

■ヘルスケアエコシステムの強化を実現するための EFPIA からの 3 つの提案：EFPIA 会長のラース フルアーガー ヨルゲンセン**● 提案 1：医薬品産業を基幹産業と位置付ける政治的取り組みの継続**

EFPIA は、日本政府が医薬品産業を基幹産業として位置づけ、経済成長へ貢献する分野として認識し、重要な一歩を踏み出したことを歓迎しており、今後もこの目標を掲げ続けていただきたいと思います。医薬品産業は、経済全体に大きな波及効果をもたらす、重要な投資先の一つであり、国民の健康に影響を与え、雇用創出や労働生産性にも重要な役割を果たしているからです。

● 提案 2：省庁横断かつ産学官民が参画可能な戦略的官民対話の実施

EFPIA は、欧州の官民対話の事例を参考として紹介します。そのうえで、日本政府に対して、省庁横断かつ産学官民の参画によって、全てのバリューチェーンの課題を議論する官民対話が可能な場の創設、そして「創薬エコシステムサミット」の戦略目標を実行するための財源の確保を求めます。

● 提案 3：イノベーションが促進される魅力的な医薬品市場創出に向けた政策環境構築の必要性

EFPIA は、イノベーションを促進し、より魅力的で競争力のあるヘルスケアエコシステムを構築するための必要なステップとして、政策環境の整備が重要と考えます。ここにはイノベーションを評価する薬価制度の枠組みや日本の規制環境におけるイノベーションに対する障壁の解消が含まれます。

最後にヨルゲンセン会長は、日本の患者さん、社会、そして経済の利益のために、新政府や内閣と協力して日本の医薬品産業を強化する意欲を表明しました。

■創薬から患者アクセスまで包括した戦略の必要性：EFPIA Japan 会長 岩屋孝彦

2024 年は、日本の医療用医薬品市場に前向きな変化をもたらす動きが見られました。薬価制度改革では、新薬創出等加算の見直しや迅速導入加算の新設などイノベーションの評価の前向きな見直しや新設があり、ドラッグ・ラグ/ロス問題の解消に向けた改革の第一歩と受け止めています。

また、創薬エコシステムサミットでは、医薬品産業を成長産業、基幹産業と位置付け、政府が一丸となって具体的な施策や事業を推進することが発表されるとともに、官民協議会の設置についても発表されました。EFPIA Japan としても本改革を前向きに受け止め、支持しています。

EFPIA Japan は、私たちが掲げる日本国民の健康と社会の「あるべき未来」の実現に向け、さらに以下のような議論を求めます。

- EU の知見をもとに、患者さんおよび患者団体も含めた『患民産官学』のマルチステークホルダーで構成され、ディスカッションに患者さんの声が反映される官民協議の場
- このマルチステークホルダーによって、イノベーション創出を推進するための研究開発、薬事規制環境の改善、革新的医薬品の価値を踏まえた適切かつ透明性の高い薬価制度の構築、効率的で質の高い医療環境の実現と治療アクセスまで、川上から川下にわたる幅広い協議を行う。

具体的には、

- 新薬の薬価収載時の価格設定の見直し、中間年改定の見直しなど、海外からの投資を引き込む魅力的な医薬品市場を実現するためのさらなる薬価制度改革
- 臨床試験環境における国際調和、承認審査等の改善など、継続的な研究開発・薬事規制環境整備

この背景には、透明性が高く予見性のある薬価制度や効率的かつ革新的な医療へのアクセスなど、充実した川下戦略がなければ、企業にとって投資価値がある市場と考えることは難しく、最終的にイノベーションの発展にはつながらないと考えからです。

わたしたち EFPIA Japan は、創薬から薬事制度・保険償還や薬価制度まで包括した持続可能な医薬品産業のエコシステムの創造に貢献してまいります。

「EFPIA Day 2024 プレス向けイベント」当日の内容

実施日 2024 年 10 月 10 日（木） 場所：室町三井ホール&カンファレンス ホール

欧州製薬団体連合会（EFPIA：European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations、本部：ベルギー・ブリュッセル）および一般社団法人 欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）は、10 月 10 日（木）「EFPIA Day 2024 プレス向けイベント」を開催いたしました。イベントでは、EFPIA 会長 ラース フルアーガー ヨルゲンセンと、EFPIA Japan 会長 岩屋孝彦の講演ならびに、一般社団法人 次世代基盤政策研究所（NFI）所長・代表理事／東京大学名誉教授 森田 朗 氏をお招きし、『日本の医療データの利活用の現状と課題および欧州の先行事例』として特別講演をいただきました。



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

■ **一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan) について** (<http://efpia.jp/>)

2002年4月に設立されたEFPIA Japanには、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業23社が加盟しています。2023年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約28%を占めています。EFPIA Japanの使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する”ことです。EFPIA Japanは日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

■ **欧州製薬団体連合会 (EFPIA, European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations) について** (<http://www.efpia.eu>)

EFPIAは、欧州で事業を展開するバイオ医薬品産業を代表する団体で、欧州各国の37の業界団体、欧州で活動する40の大手製薬企業、多数の中小企業(SME)の直接会員により構成されています。新たな治療薬およびワクチンの創薬や研究開発、イノベーション、供給を可能にする環境の構築と、欧州経済への貢献を使命としています。

■ **報道関係者のお問い合わせ：**

- EFPIA Day 2024 広報事務局 担当 山本、高橋、森田

TEL: 090-4224-3951 (山本)、080-3607-0225 (高橋)、070-4303-0181 (森田)

E-Mail: efpiaj-pr@kyodo-pr.co.jp

- EFPIA Japan 広報委員会 担当：東川 (ノボ ルディスク ファーマ株式会社)

TEL: 03-6266-1371